

詫び状の書き方教室」掲載例文使用条件

- ① 「詫び状の書き方教室」(以下「本サイト」)の例文は、学校提出に限りその使用を認めます。
- ② 本サイトの例文を使用し、何らかの問題が発生しても、本サイトおよび管理人は**一切の責任を負わない**ものとしします。
- ③ 本サイトの例文を使用する場合、すべてにおいて**使用者の自己責任**で対応するものとしします。
- ④ 本サイトおよび例文に関しては、苦情等は**一切受け付けない**ものとしします。
- ⑤ 何かしらの問題が発生する可能性がある**と判断した場合**、使用は控えてください。
- ⑥ 本サイトの例文を他サイトへ転載することは、理由のいかんを問わず**厳禁**とします。
- ⑦ 他サイトからの直リンクは**一切禁止**とします。

以上

急啓 昨日から二男ポン助が無口で、普段と様子が違うので、その理由を問いたしましたが、遅刻が増えたことを、●●先生から厳しく注意を受けたとのことでした。ポン助がこのような行為に及びましたことは保護者として汗顔至曲に存じます。

子どもをきちんと学校へ送り出すのが親のつとめとは承知しておりますが、供働きゆえ、ポン助の登校よりも先にわたしと家内が出勤するために、監督が行き届かなかったことは否めません。

ポン助には、厳しく注意をいたしました。遅刻がいかにかに生活態度をたらしなくさせるかを理解してくれたよううで、毎朝わたしたちと一緒に家を出ることを約束いたしました。

私どももポン助に対し厳しく教育をしてきたつもりでした。しかし、このたびのような不始末を引き起こしたことは、子どもに対しての接し方や、保護者としての態度にも問題があつた故と、息子ポン助とともに深く反省をしております。

ポン助にはこれまで以上に厳しい態度で接し、二度と遅刻をさせないよう、保護者としての責任を果たす所存でございます。今後もポン助ともどもご指導のほど心よりお願い申し上げます。

不

平成●●年●●月●●日

ポン助の父 山田ポン太郎

田中ピー助先生